

平成 24 年 6月 1日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅ブランド化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅ブランド化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称: 宮崎ファースの家

グループの名称: 宮崎ファースの家を造る会

(グループ代表者)

代表者名: 清水 賢一郎 印

代表者所属先: 清栄建設

代表者住所: 宮崎県都城市横市町265-5

電話番号: 0986-25-3924

(グループ事務局)

事務局事業者名: 清栄建設

事務局担当者名: 清水 賢一郎 印

事務局住所: 宮崎県都城市横市町265-5

事務局電話番号: 0986-25-3924

事務局FAX: 0986-25-3955

事務局担当者E-mail: [seieipri@seiei-project.com](mailto:seieipri@seiei-project.com)

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) <b>宮崎ファースの家</b>	(地域型住宅供給対象地域) <b>宮崎県</b>					
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) <b>宮崎ファースの家を造る会</b>	(結成年月) <b>平成24年6月</b>					
3. 地域材の名称・産地・認証制度等(必須)	(名称) 合法材、SGEC認証材 <b>宮崎県</b>	(産地) 宮崎県木材協同組合連合会合法認証 SGEC(『緑の循環』認証会議)認証					
4. グループ代表者名(必須)	<b>清水 賢一郎</b>	5. グループ代表者の所属先(必須) <b>清栄建設</b>					
6. グループ事務局事業者名(必須)	<b>清水 賢一郎</b>	7. グループ事務局事業者所在地(必須) <b>宮崎県都城市横市町265-5</b>					
8. グループ事務局事業者TEL(必須)	<b>0986-25-3924</b>	9. グループ事務局事業者FAX(必須) <b>0986-25-3955</b>					
10. グループ事務局担当者名(必須)	<b>清水 賢一郎</b>	11. グループ事務局担当者E-mail(必須) <b>seieiprj@seiei-project.com</b>					
12. グループ構成員(必須)							
	事業者名	代表者名	所在地	平成23年(1月~12月)実績			
I. 原木供給			構成員数: 2	地域材(丸太)供給量(m <sup>3</sup> )			
I-1	都城森林組合	0	宮崎県都城市早鈴町5058番地	40,000 m <sup>3</sup>			
I-2	日南製材事業協同組合	0	宮崎県日南市北郷町郷之原乙72-1	60,000 m <sup>3</sup>			
II. 製材・集成材製造・合板製造			構成員数: 1	生産量	うち該当地域材		
II-1	(株)高嶺木材	0	宮崎県日南市大字伊比井173-1	20,000 m <sup>3</sup>	20000 m <sup>3</sup>		
II-2	0	0		0 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>		
II-3	0	0		0 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>		
II-4	0	0		0 m <sup>3</sup>	0 m <sup>3</sup>		
III. 建材(木材)流通			構成員数: 2	木材供給量	うち該当地域材		
III-1	(株)高嶺木材	0	宮崎県日南市大字伊比井173-1	40,000 m <sup>3</sup>	40,000 m <sup>3</sup>		
III-2	南九州木材市場(株)	0	宮崎県宮崎市高岡町上倉永2518番地	45,000 m <sup>3</sup>	40,000 m <sup>3</sup>		
IV. プレカット			構成員数: 2	プレカット戸数	うち長期優良住宅		
IV-1	鉄肥の国プレカット協同組合	0	宮崎県日南市大字伊比井2895番地1	450 戸	30 戸		
IV-2	ランバー宮崎協同組合	0	宮崎県宮崎市高岡町上倉永2515番地	1800 戸	60 戸		
V. 設計			構成員数: 2	木造住宅設計戸数	うち長期優良住宅		
V-1	大塚設計	0	宮崎県宮崎市清武町加納甲2316-17	4 戸	4 戸		
V-2	有限会社 カワコウ	0	宮崎県宮崎郡田野町甲3741番地2	7 戸	1 戸		
V-3	0	0		0 戸	0 戸		
VI. 施工			構成員数: 6	元請の新築住宅供給戸数	うち木造の長期優良住宅		
(元請の年間新築住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上含まれることとする)			被災地	平成23年実績	直近3年平均		
VI-1	清栄建設	0	宮崎県都城市横市町265-5	4 戸	4 戸	2 戸	2 戸
VI-2	有限会社 カワコウ	0	宮崎県宮崎郡田野町甲3741番地2	4 戸	3 戸	1 戸	0 戸
VI-3	有限会社 ハウスケア岩切	0	宮崎市大字赤江1106番地	1 戸	3 戸	0 戸	0 戸
VI-4	大塚工務店	0	宮崎市島之内9728-1	0	3 戸	3 戸	2 戸
VI-5	有限会社 耕建設	0	宮崎県児湯郡都農町大字北川21400-53	0	3 戸	3 戸	0 戸
VI-6	(株)ミツワ産業	0	宮崎県都城市庄内町12471番地	0	0 戸	0 戸	0 戸
VI-7	0	0		0	0 戸	0 戸	0 戸
VI-8	0	0		0	0 戸	0 戸	0 戸
VI-9	0	0		0	0 戸	0 戸	0 戸
VI-10	0	0		0	0 戸	0 戸	0 戸
VI-11	0	0		0	0 戸	0 戸	0 戸
VI-12	0	0		0	0 戸	0 戸	0 戸
VII.			構成員数: 〇〇	0	0		
VII-1	0	0		0	0		
VIII.			構成員数: 〇〇	0	0		
VIII-1	0	0		0	0		

- 注1) <様式2-1-2>は<様式2-1-1>とリンクが組まれています。グループ構成員は<2-1-2>に記入してください。
- 注2) 業種(I、II...)毎に、それぞれ原則として1事業者以上の構成員(ただし、VI. 施工については、元請の年間新築住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上)による体制としてください。
- 注3) VI. 施工については、所在地は本社の情報、戸数については支社や営業所等を含む会社全体の戸数を記入してください。また、「直近3年平均」とは平成21年から23年の3カ年における1年当たりの平均を記載して下さい。
- 注4) 業種(I、II...)毎に、平成23年(1月~12月)実績の大きい事業者から順に記載してください。
- 注5) I~VI以外の業種の構成員がある場合は、VII以降に記載してください。
- 注6) 国有林から原木を調達する場合など、原木供給事業者名を特定できない(グループ構成員として記載できない)が、地域材の調達手続きが明確な場合は、その旨を様式2-2において説明してください。
- 注7) ※「被災地」については、「施工」の事業者の主たる事業所(本店)が、「東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律」に基づく「特定被災区域」に存する場合、○を付けて下さい。
- 参照: 内閣府HP (<http://www.bousai.go.jp/2011jyosei-tokutei.html>)

<グループ構成員記入用リスト>

注1 <様式 2-1-2>

注2		注3			注4		平成23年(1月~12月)実績		被災地	
県番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	地域材(丸太)供給量(m <sup>3</sup> )	生産量	うち該当地域材		
<b>I. 原木供給</b>							構成員数: 2			
45	I-1	都城森林組合		宮崎県都城市早鈴町5058番地			40,000 m <sup>3</sup>			
45	I-2	日南製材事業協同組合		宮崎県日南市北郷町郷之原乙72-1			60,000 m <sup>3</sup>			
	I-3									
	I-4									
	I-5									
	I-6									
	I-7									
	I-8									
	I-9									
	I-10									
<b>II. 製材・集成材製造・合板製造</b>							構成員数: 1			
45	II-1	株高嶺木材		宮崎県日南市大字伊比井173-1			20,000 m <sup>3</sup>	20,000 m <sup>3</sup>		
	II-3									
	II-4									
	II-5									
	II-6									
	II-7									
	II-8									
	II-9									
	II-10									
<b>III. 建材(木材)流通</b>							構成員数: 2			
45	III-1	株高嶺木材		宮崎県日南市大字伊比井173-1			40,000 m <sup>3</sup>	40,000 m <sup>3</sup>		
45	III-2	南九州木材市場(株)		宮崎県宮崎市高岡町上倉永2518番地			45,000 m <sup>3</sup>	40,000 m <sup>3</sup>		
	III-3									
	III-4									
	III-5									
	III-6									
	III-7									
	III-8									
	III-9									
	III-10									
<b>IV. プレカット</b>							構成員数: 2			
45	IV-1	鉄肥の国プレカット協同組合		宮崎県日南市大字伊比井2895番地1			450 戸	30 戸		
45	IV-2	ランバー宮崎協同組合		宮崎県宮崎市高岡町上倉永2515番地			1,800 戸	60 戸		
	IV-3									
	IV-4									
	IV-5									
	IV-6									
	IV-7									
	IV-8									
	IV-9									
	IV-10									
<b>V. 設計</b>							構成員数: 2			
45	V-1	大塚設計		宮崎県宮崎市清武町加納甲2316-17			4 戸	4 戸		
45	V-2	有限会社 カワコウ一級建築士事務所		宮崎県宮崎郡田野町甲3741番地2			7 戸	1 戸		
	V-3									
	V-4									
	V-5									
	V-6									
	V-7									
	V-8									
	V-9									
	V-10									
<b>VI. 施工</b> (元請の年間新築住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上含まれることとする)							構成員数: 6			
45	VI-1	清栄建設		宮崎県都城市横市町265-5			4 戸	4 戸	2 戸	2 戸
45	VI-2	有限会社 カワコウ		宮崎県宮崎郡田野町甲3741番地2			4 戸	3 戸	1 戸	0 戸
45	VI-3	有限会社 ハウスケア岩切		宮崎市大字赤江1106番地			1 戸	3 戸	0 戸	0 戸
45	VI-4	大塚工務店		宮崎市島之内9728-1			3 戸	3 戸	3 戸	2 戸
45	VI-5	有限会社 耕建設		宮崎県児湯郡都農町大字北川121400-53			3 戸	3 戸	0 戸	0 戸
45	VI-6	株ミツワ産業		宮崎県都城市庄内町12471番地			0 戸	0 戸	0 戸	0 戸
	VI-7									
	VI-8									
	VI-9									
	VI-10									
	VI-11									
	VI-12									
	VI-13									
	VI-14									
	VI-15									
	VI-16									
	VI-17									
<b>VII.</b>							構成員数: 〇〇			
	VII-1									
	VII-2									
	VII-3									
	VII-4									
<b>VIII.</b>							構成員数: 〇〇			
	VIII-1									
	VIII-2									
	VIII-3									
	VIII-4									

注1) <様式2-1-2>は<様式2-1-1>とリンクが組まれています。グループ構成員は<2-1-2>に記入してください。

注2) 県番号は、次のワークシートを参照してください。

注3) 郵便番号は、半角文字で、ハイフオン付きで入力してください。(例: 000-0000)

注4) 電話番号は、半角文字でハイフオンやかっこを入れずに入力してください。(例: 00000000000)

注5) 業種(I、II...)毎に、それぞれ原則として1事業者以上の構成員(ただし、VI. 施工については、年間住宅供給戸数が50戸程度未満の中小住宅生産者が5から10事業者程度以上)による体制としてください。

注6) VI. 施工については、所在地は本社の情報、戸数については支社や営業所等を含む会社全体の戸数を記入してください。また、「直近3年平均」とは平成21年から23年の3カ年における1年当たりの平均を記載して下さい。

注7) 業種(I、II...)毎に、平成23年(1月~12月)実績の大きい事業者から順に記載してください。

注8) I~VI以外の業種の構成員がある場合は、VII以降に記載してください。

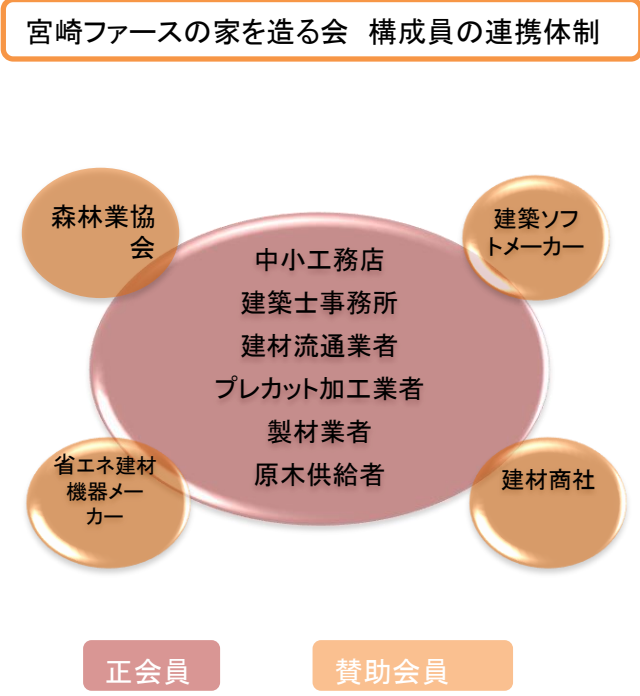
注9) 国有林から原木を調達する場合など、原木供給事業者名を特定できない(グループ構成員として記載できない)が、地域材の調達手続きが明確な場合は、その旨を様式2-2において説明してください。

注10) ※「被災地」については、「施工」の事業者の主たる事業所(本店)が、「東日本大震災に対処するための特別の財政援助及び助成に関する法律」に基づく「特定被災区域」に存する場合、○を付けて下さい。  
参照: 内閣府HP(<http://www.bousai.go.jp/2011jyousei-tokutei.html>)

注11) 施工が少ない場合は、P-2~P-5を削除してください。

注12) 行が不足する場合は、行末に追加して下さい。

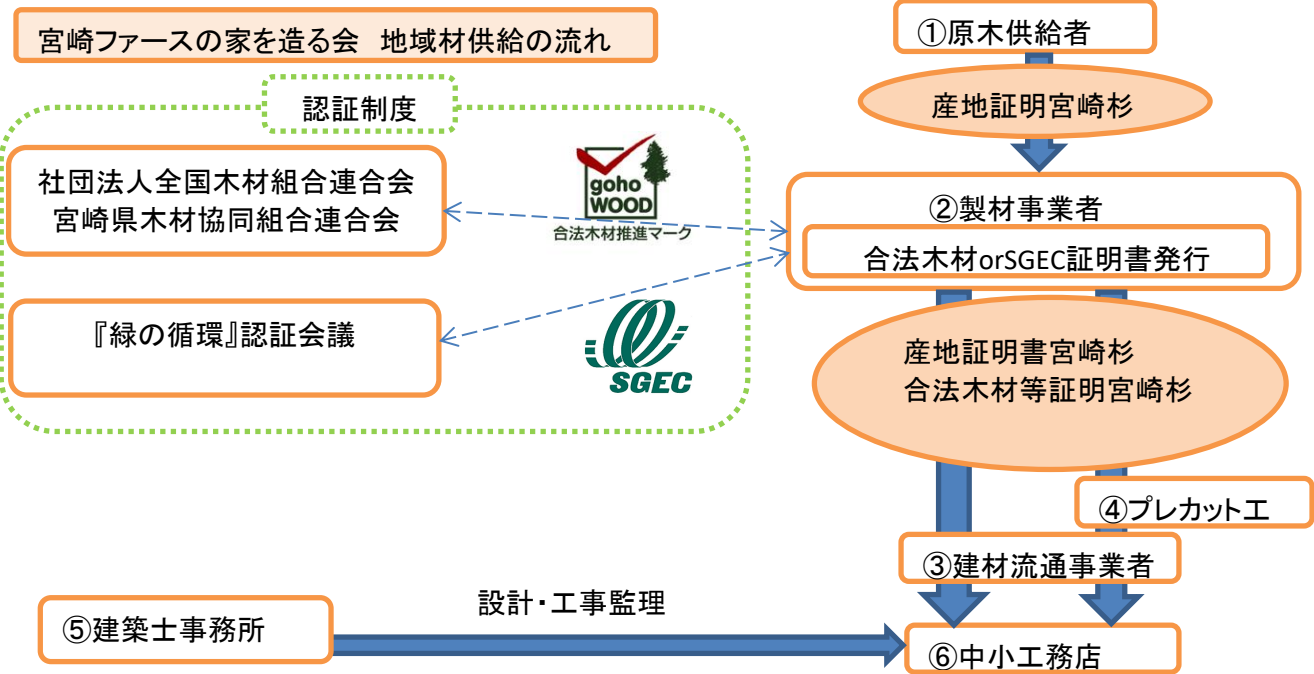
1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 宮崎ファースの家	(地域型住宅供給対象地域) 宮崎県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 宮崎ファースの家を造る会	(結成年月) 平成24年6月
3. 地域材の名称・産地・認証制度等 (必須)	(名称) 合法材、SGEC認証材	(産地) 宮崎県 <small>(認証制度等) 宮崎県木材協同組合連合会合法認証 SGEC『緑の循環』認証会議認証</small>
4. 構成員の連携体制や、地域材供給の流れ等のフロー図等 (必須)		



台風や新燃岳の降灰など自然の災禍にはげみ苛み続けられる九州南部をエリアとする木造住宅に関わる同志の集まりとしてco2削減の地球的な視点とエリアのお客様の快適な暮らし創造の地域視点の同時実現を地域最適の木造住宅供給によって実現するという同じ志で事業に取り組む。併せて地域産業振興と地域雇用責任の完遂

旧住宅金融公庫によると県別の戸建て坪単価は一位東京@74万円、47位宮崎@48万円、さらに都城を核とするグループエリアはその20%ダウンの@38万円と言われ、小中工務店にとって依然長期優良住宅は高値の花で、今般のブランド化事業取り組みにより、エリア全工務店が長期優良を手掛ける足掛かりとして単に品質＝坪単価ではない衆知での特色ある地域住宅づくりにと取り組む。

会員の構成は地域住宅型『宮崎ファースの家』を供給する正会員と、ソフト情報や省エネ建材機器の提案、市場動向などの情報提供の機能を発揮いただくメーカー建材商社などの関連業種と業界全体として支援いただく森林業協会や木材協同組合連合会を賛助会員として多角的視点から活動拡大とノウハウ



注1) 構成員の連携体制や、地域材供給の流れ等について、フロー図等を用いてわかりやすく説明してください。  
 注2) 原則として、1枚に収めてください。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 宮崎ファースの家	(地域型住宅供給対象地域) 宮崎県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 宮崎ファースの家を造る会	(結成年月) 平成24年6月
3. 地域材の名称・産地・認証制度等 (必須)	(名称) 合法材、SGEC認証材 (産地) 宮崎県	(認証制度等) 宮崎県木材協同組合連合会合法認証 SGEC『緑の循環』認証会議認証
4. 地域型住宅に使用する地域材の選定に当たっての考え方 (必須)		
<p>地域材は次の理由から、宮崎県産認証を受けた杉材とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>宮崎県はスギ生産高日本一であり、森林の管理から原木供給及び製材事業者までその数も多くまた生産体制も整備されており、地域証明も確実に取得できる。</li> <li>宮崎県産杉は、日本全国に構造材として出荷されており、餌肥杉として知名度も高く地域型住宅のブランド化を牽引する材料として必須である。</li> <li>地域材認証は、宮崎県木材協同組合連合会が合法木材認証機関として、また宮崎県森林協同組合が『緑の循環』認証会議(SGEC)の認証機関として、いずれも公共性・信頼性の高い団体が主体となって運営しており、施主の信頼に充分答えるものである。またこれらの団体は、宮崎県産材の普及活用を図る木材供給業界にとどまらず建築関連業界とも密接な関係にあり、信頼度が高く今後の活動のパートナーとしてもきたいである。</li> <li>技術的側面においても全国初の県運営の木材技術センターとして、宮崎県木材利用技術センターも発足し、杉材活用の用途開発についても明るい展望がひらけており、宮崎杉としての新技術の開発や新技法の開発が期待される。</li> </ol>		
5. 地域型住宅の特性に応じ、必然的に一部の業種を含まないこととなる根拠(該当する場合のみ記載)		
該当無し		

注1) 各項目について分かりやすく記載して下さい。

注2) 記載欄のスペースについては適宜調整し、原則として、1枚に収めてください。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 宮崎ファースの家	(対象地域) 宮崎県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 宮崎ファースの家を造る会	(結成年月) 平成24年6月
3. 地域材の名称・産地・認証制度等 (必須)	(名称) 合法材、SGEC認証材	(産地) 宮崎県 (認証制度等) 宮崎県木材協同組合連合会合法認証 SGEC『緑の循環』認証会議認証
4. 地域型住宅の特徴・具体像		
(1) 地域の気候・風土、歴史、文化、街並み景観等の特徴 (必須)	<p>○宮崎県は日射量が豊富であり、高温多湿の気候である。(平均気温17.4度全国3位・日照時間全国2位)</p> <p>○谷風の莱週に数多くみまわれてきた地域であり、災害に立ち向かう地域の相互扶助の気質が醸成されている。また台風を避けるため防風林や土塚に囲まれた家づくりの歴史も今は受け継がれず地域性が失われてきている。</p> <p>○新燃岳の火山を頂く地域であり、火山灰の降灰対策として燃えないゴミ回収日に火山灰も合わせて回収してくれる地域でもある。住宅への降灰対策はまだまだ不十分で地域型住宅に活かしていく必要がある。</p>	
(2) 地域材の特徴、地域材供給の現状 (必須)	<p>○主な森林資源はスギ人工材であり、日本一の杉生産高を誇る。まさに地域のブランド品として、県外にも宮崎県産杉＝飢肥杉(オビスギ)として認知されており、その信頼性は高い。</p> <p>○これまでの森林行政の成果で、製材業者の構成員のうちJAS認定取得業者もあり、品質の高い杉製品を出荷しており、その評価も高くまた安定している。</p> <p>○年を追うごとに人工乾燥材『KD材』の需要が高まってきており、製材事業者においては、乾燥工場の整備やバイオマスボイラーによるCO2削減にも取り組んできており、環境対策を踏まえた地域産業振興が図られてきている。</p>	
(3) 上記を踏まえた地域型住宅の特徴、具体像等 (必須)	<p>○台風と地震に強い家</p> <p>○降灰対策として雨樋の雨水を直結しないで脱着できるよう施工</p> <p>○温暖な気候風土で一時エネルギーの多い宮崎の住宅の背景から、長期優良住宅(躯体)と住宅設備を一体にして考えた一次エネルギー消費量を削減する環境負荷低減住宅を供給する。</p>	
5. 地域型住宅の生産に関する共通ルール		個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
(1) 地域型住宅の規格・仕様に関する共通ルール (必須)	<ul style="list-style-type: none"> <li>床下地、構造用合板厚み12mm以上を使用。</li> <li>構造材外周部120mm以上を使用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>邸別当該構造用合板納品書写しを添付</li> <li>住宅の木拾い表、合法証明、流通時の納入伝票を添付する。</li> </ul>
(2) 地域型住宅に用いる地域材の供給・加工・利用に関する共通ルール (必須)	<p>・構造材(柱・梁・桁・土台)は産地証明・合法証明のなされた地域材を80%以上使用とする。</p> <p>・主要構造材(柱・梁・桁・土台)における地域材使用のルール (必須)</p> <p>・主要構造材(柱・梁・桁)は含水率20%未満の人工乾燥材(KD材)を仕様とする。</p> <p>・主要構造材以外の部材における地域材使用のルール (必須)</p> <p>・主要構造材以外の木材についても80%以上を地域材使用とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅の木拾い表を添付すると共に第三者機関が発行する証明書を添付。</li> <li>同上</li> <li>同上</li> </ul>
(3) 地域型住宅の積算に関する共通ルール (任意)	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準設計図書および標準見積書の作成及び施工への提示</li> <li>断熱・気密工事は共通価格表に基づき積算を行うこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準設計図書および標準見積書の添付</li> <li>断熱・気密工事の実行予算書を添付。</li> </ul>
(4) 地域型住宅で用いる資材(地域材を除く)の調達に関する共通ルール (任意)	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅の維持管理を容易にする『さや管』を共通部材として採用、品質及び施工の均質性を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>さや管施工図添付。</li> </ul>
(5) 地域型住宅の施工に関する共通ルール (任意)	<ul style="list-style-type: none"> <li>断熱・気密仕様を共通マニュアル化し、かつ断熱、気密工事は専門業者が行うことで全棟の品質確保を行う。</li> <li>共通の工事検査シートを活用し、自社及びグループ構成員の設計事務所による2社以上で工事確認を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門業者が発行する工事完了報告書を添付。</li> <li>検査シートを添付。</li> </ul>
(6) 地域型住宅の維持管理に関する共通ルール (必須)	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設後30年間の維持保全計画書の共通化。</li> <li>「住宅履歴情報の蓄積・活用の指針」に示された項目を、住宅履歴情報サービス機関：ハウスジーン(機関コード0008)へ蓄積。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住宅履歴情報サービス機関：ハウスジーン(機関コード0008)へ蓄積し確認。</li> <li>住宅履歴情報登録証明書。</li> </ul>
(7) 地域型住宅に関するその他の共通ルール (任意)	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期優良住宅のメリットのひとつである、フラット35SSエコ(金利Aプラン)を積極的に活用することを推奨する。</li> </ul>	

注1) 箇条書きでポイントとなる点を明確に記載してください。

注2) 5の(3),(4),(5),(7)については、各項目の共通ルールを設定した場合に記載してください(その他の欄は必ず記載)。

注3) 5の(2)において、「主要構造材における地域材使用のルール」及び「主要構造材以外の部材における地域材使用のルール」については可能な限り定量的なルールを記載して下さい。

注4) 「個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段」については、定性的な確認手段ではなく、添付資料等により、数値(定量的手法)や有無(○×)で判断が可能なものとします。すなわち、そのような内容で判断ができないものについては、「地域型住宅の生産に関する共通ルール」として設定することはできないものとします。

注5) 行が不足する場合は、適宜追加してください。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 宮崎ファースの家	(地域型住宅供給対象地域) 宮崎県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 宮崎ファースの家を造る会	(結成年月) 平成24年6月
3. 地域材の名称・産地・認証制度等 (必須)	(名称) 合法材、SGEC認証材	(産地) 宮崎県
(認証制度等) 宮崎県木材協同組合連合会合法認証 SGEC『緑の循環』認証会議認証		
4. 地域型住宅の特徴・具体像及び共通ルール等についての説明 (必須)		

## 宮崎ファースの家

宮崎ファースの家の担当エリアは、日射量豊富にして高温多湿、新燃岳の降灰、台風災禍の環境下であり、このような環境に適した住まいづくりを地域と作り手が一心になり完成させ、

最小限の換気と、調湿、清浄された空気が、健康空気循環システムで家中に供給されるため、家屋内の空気はいつも森林の中のような環境です

### 調湿・冷暖房の生活空間

調質された空気が熱交換式サイクルファンにより

### 断熱・気密性が担保され

ウレタン発泡で家全体を構造体と基礎から包み、外気の温度に影響

### 新燃岳地震など自然災害に強い

ウレタン吹付を施し、吸震構造になっているため地震に極め

### ソーラー住宅システム認定次世代型 (sh9904)

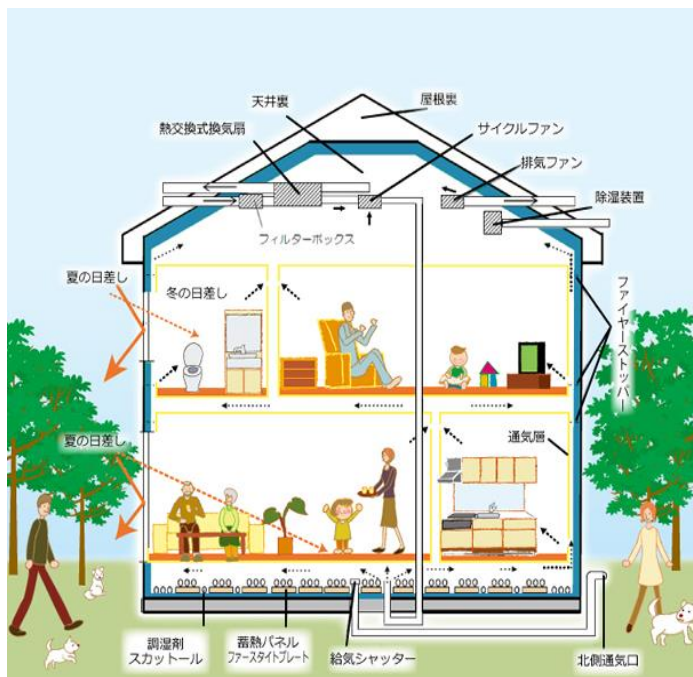
ファース専用ガラスで日射熱を制御し年間の冷暖房負荷を軽減する技術が認められ、平成12年に認定さ

### 断熱住宅評定 (認定番号; 省エネ機・評認定第

平成5年に硬質ウレタンフォームの現場発泡方式『スプレー発泡』としては、日本で初めて

### 気密工法に関する特別評価方法認定 (認定番号: 171号)

樹脂のスプレー発泡の単一工事だけで、床壁屋根面を一体に包み込む施工方法が、平成14年に国土交通大臣より評価されました。



### 日本一の宮崎杉でつくる、ファースの家

構造材の外部内部材に合法木材 (宮崎杉材等) もしくはSGEC認証材を使用。

### 南九州の日射に強い住

超高気密断熱樹脂製ペアサッシと熱損失の少ないLOW-Eガラスとアルゴンガスを使用。

注1) 地域型住宅の特徴・具体像及び共通ルールについて、図表等を用いてわかりやすく説明してください。

注2) 原則として、1枚に収めてください。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 宮崎ファースの家	(地域型住宅供給対象地域) 宮崎県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 宮崎ファースの家を造る会	(結成年月) 平成24年6月
3. 地域材の名称・産地・認証制度等 (必須)	(名称) 合法材、SGEC認証材	(産地) 宮崎県 <small>(認証制度等) 宮崎県木材協同組合連合会合法認証 SGEC『緑の循環』認証会編」認証</small>
4. グループ形成のプロセス及び地域型住宅の生産に関する共通ルールの合意形成のプロセス (必須)		
<p>平成24年4月27日 当協議会の幹事となる清栄建設より参加の提案があり。</p> <p>平成24年4月28日 ファース登録工務店数社に対して、地域ブランド化事業に対して考えをヒアリング。</p> <p>平成24年4月28日 仮称及び規約の案を作成。</p> <p>平成24年4月30日 宮崎のファース加盟店に対して再度ヒアリング活動開始。</p> <p>平成24年5月12日 清栄建設が中心となり当協会の構成員を集める活動を開始。 案の骨子作成①地域ブランド化事業について ②ブランド化事業のイメージ ③会則の検討(規約、役員、会費他)</p> <p>平成24年5月16日 JAアズムホールにて、宮崎県内のファース会員に対して地域ブランド化事業参加再度呼びかけ。</p> <p>平成24年5月26日 宮崎ファース会総会にて、地域型ブランド化事業への取り組み表明。</p> <p>平成24年5月30日 宮崎県内6社の工務店へ再度、規約及び内容の送付。</p> <p>平成24年5月31日 参加受付。</p> <p>平成24年6月 1日 宮崎ファースの家を造る会発足及び地域型住宅ブランド化事業の提案内容の確認・採択・結成。</p>		
5. 環境未来都市等、地域におけるプロジェクトや行政上の計画等に関連する場合、それらにおける本申請内容の具体的な位置づけ等(該当する場合のみ記載)		

注1) 各項目について分かりやすく記載して下さい。

注2) 記載欄のスペースについては適宜調整し、原則として、1枚に収めてください。

注3) 記載内容の詳細が分かる資料があれば、適宜添付してください。





1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 宮崎ファースの家		(地域型住宅供給対象地域) 宮崎県		
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 宮崎ファースの家を造る会		(結成年月) 平成24年6月		
3. 地域材の名称・産地・認証制度等 (必須)	(名称) 合法材、SGEO認証材	(産地) 宮崎県	(認証制度等) 宮崎県木材協同組合連合会合法認証 SGEO(緑の循環)認証会施工認証		
4. 地域型住宅の生産体制による具体的取組及び役割分担についての説明 (必須)					
具体的取組	対象者				
	会員	潜在ユーザー	顕在ユーザー		
(1) 地域型住宅の信頼性を確保するための具体的取組	技術力向上のための研修会や連絡会の実施		設計	着工～竣工	引渡～維持管理
事務局が中心となり共通ルールのチェックシステムの確立及び設計事務所による支援相談窓口の設置			設計事務所によるチェック及び支援相談実施		
(2) 地域型住宅の適切な維持管理のための具体的取組	相互サポート制度の構築				定期点検実施及び第三者機関へ保全計画書・修繕履歴シート等保管
(3) 地域型住宅の普及を促進するための具体的取組		事務局(清栄建設)のホームページへの建設事例の掲載など、普及活動の実施		構造見学会と完成見学会の実施	
		消費者向け長期優良住宅説明会の実施			
(4) 地域の住宅生産技術の継承及び人材育成に関する取組	断熱施工技術者(BIS及びBIS-E)の養成				
	グループ内での実績報告及び温熱環境勉強会実施				
(5) 新しい生産技術の導入に関する具体的取組	各検討会による実績報告会の実施				
地域材活用方策検討会を設置し、宮崎杉材による地域材活用方策を検討					
省エネルギー検討会を設置し、地産地消と省エネの両立した技術を検討					

注1) 地域型住宅の生産体制による具体的取組及び役割分担について、図表等を用いてわかりやすく説明してください。

注2) 原則として、1枚に収めてください。